

石川県のがん登録

南 陸男^{*1}, 林 宏一^{*1}, 船田 満生^{*1}, 相木 直美^{*1}, 会津 善宏^{*1},
杉田 直道^{*1}, 加藤 佐敏^{*2}, 宮川 茂樹^{*3}, 田嶋 隆俊^{*3}

1. 石川県地域がん情報管理事業の目的

がん(悪性新生物)は、昭和 55 年から石川県における死亡原因の第1位となっている。石川県地域がん情報管理事業(がん登録)では、県内の住民の中で発生したがんについて、その発病から治癒、または死亡に至るまでの全過程に関する医療情報を多方面から収集し、個々のがんごとに集約し、これらの情報を使用して、次の諸活動に資することを目的としている(表1)。

表1. 石川県地域がん情報管理事業の目的

- ・罹患率の測定の測定
- ・受療状況の把握
- ・生存率の測定
- ・がん予防、医療活動の評価
- ・医療機関におけるがん医療の評価の援助
- ・疫学研究

2. 事業の概要

がん登録事業は、平成3年10月から石川県が主体となり実施している。情報の収集については、石川県医師会へ委託し、同会は医師から届出される「悪性新生物届出票」の検査、補足及び、届出情報と保健所からの死亡情報との照合、同定を行い、情報を登録する。登録情報は、石川県保健環境センターにおいて集計、解析し、その結果を石川県厚生部がん対策室が報告書として取りまとめ、関係各方面へ提供している。

なお、本事業を進めるに当たり、「石川県がん情報管理・運営協議会」において、効率、精度、プライバシー保護等について管理及び協議するとともに、「石川県成人病検診管理指導協議会成人病登録・評価等部会がん登録委員会」において、解析結果の評価及びがんの動向等について専門的見地からの指導、助言を求めている。がん情報の伝達に当たってはすべてオフラインで行っており、絶対に外部にもれないようにしている(表2)。

表2. 実施体制(関係機関の役割)

- ・県厚生部がん対策室: 主体、情報の還元
- ・県保健環境センター: 集計・解析・検索
- ・県医師会: 収集・検査・情報入力
- ・保健所: 死亡情報入力
- ・石川県成人病検診管理指導協議会成人病登録・評価等部会がん登録委員会: 解析結果等の指導
- ・石川県がん情報管理・運営協議会: プライバシー保護等情報の管理
- ・医療機関の医師: 届出

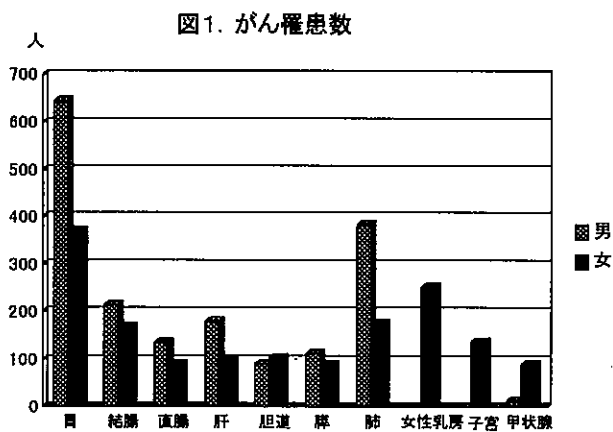
届出・登録の対象となる者は県内に住所を有する者(外国人含む)であり、対象となる悪性新生物の範囲は、胃、結腸、直腸・直腸S字結腸移行部及び肛門、肝及び肝内胆管、胆嚢及び肝外胆管、膵、気管・気管支及び肺、女性乳房、子宮、甲状腺である(ただし、乳房、子宮は女性のみ)。

3. 事業の成績(平成6年標準集計)

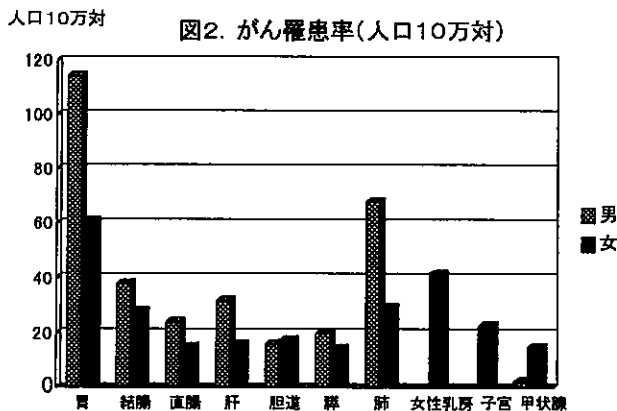
^{*1} 石川県厚生部がん対策室 ^{*2} 石川県厚生部健康増進課 ^{*3} 石川県保健環境センター
〒920-8550 金沢市広坂 2-1-1 TEL 076-223-9149 FAX 076-223-9477

届出の精度管理指標であるDCO率は31.6%、I/D値は1.77であった。DCO率は平成4年37.0、平成5年34.7であり、徐々に改善しているものの、まだ高い。I/D値は平成4年1.77、平成5年1.82、今回1.77であり、全国平均レベルであった。今後いっそう届出精度を上げていく必要がある。

部位別にはがん罹患数を見ると、男性では胃644、肺382、結腸214、肝179、直腸135の順に多く、女性では胃368、乳房252、肺176、結腸168、子宮137の順に多かった(図1)。

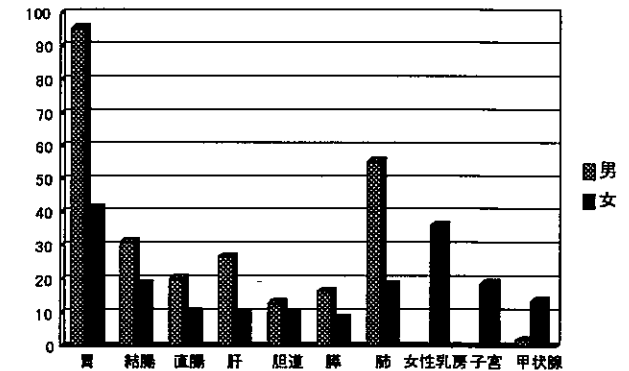


罹患率(人口10万対)は、男性では胃114.1、肺67.7、結腸37.9、肝31.7、直腸23.9の順に高く、女性では胃60.7、乳房41.6、肺29.0、結腸27.7、子宮22.6の順に高かった(図2)。年齢調整罹患率(人口10万対、昭和60年モデル人口使用)は、男性では胃95.3、肺55.5、結腸31.1、肝26.8、直腸20.3の順に高く、女性では胃41.2、乳房36.1、子宮18.8、結腸18.5、肺18.4の順に



高かった。石川県では年齢調整により、子宮の罹患率の順位が上がってくるのが特徴である(図3)。

図3. がん年齢調整罹患率(人口10万対)



4. 今後の課題

登録精度の向上はもちろんのこと、本来の目的である登録情報の有効活用が本県の重要課題である。罹患率、生存率等の分析を通して、市町村が実施するがん検診事業やがん予防普及啓発活動に強力なバックデータを提供できるシステムとしていきたい。

また、今後新たな疫学的課題が生じてきた場合、がん情報システムが有効に利用されるようなものになるように整備していく必要がある(表3)。

表3. 今後の課題

- | |
|---------------------|
| 1登録精度の向上 |
| 2登録情報の有効活用 |
| ・生存率の測定 |
| ・がん予防、医療活動の評価 |
| ・医療機関におけるがん医療の評価の援助 |
| ・疫学研究 |